

微生物は、どんな形をしているのでしょうか。微生物は大きさもいろいろでしたが、形もさまざまです。

### Q12 細菌はどのような形をしているのですか？

微生物の中にはいろいろな仲間がありますが、まず、その代表として、細菌の形を見てみましょう。細菌は、1つの細胞が1つの生命体になっています。その細胞は球状や細長いソーセージのような形をしたものが多く、それ以外にはらせん状、糸状、折れ曲がった棒のような形をしたものもあります。

また、このような細菌どうしが塊を作る場合があります。その集まり方は球状の細菌が2個つながったり、4個つながったりしたもの、そして鎖のようにつながったものもあります。ソーセージ状の細菌にも、鎖がつながったようになるものもあります。また、このほかにも、おにぎりのような三角の形や、切手シートのように四角形の細菌がつながった形をしたものまであります(図1.9)。

### Q13 真菌はどのような形をしているのですか？

真菌の仲間には、お酒やパンを作るときに使われる酵母があります。酵母は、多くの細菌と同じく、1つの細胞が1つの生命体になっています(図1.2参照)。複数の細胞が糸状につながっている「菌糸」と呼ばれる構造を持つものは、主にカビやキノコの仲間に入ります。

酵母は細菌と同じく、生育が進むと肉眼で見える塊を作ります。この塊は、単に細胞がたくさん集まったものですが、キノコの場合は複数の細胞が集まって役割分担をするようになります。キノコとして目に見える形は「子実体

体」と呼ばれていて、細胞が役割分担をして子実体の「石突」や「傘」を作り、傘の裏に胞子を付けるようになります(図1.10)。

図1.9 細菌の形

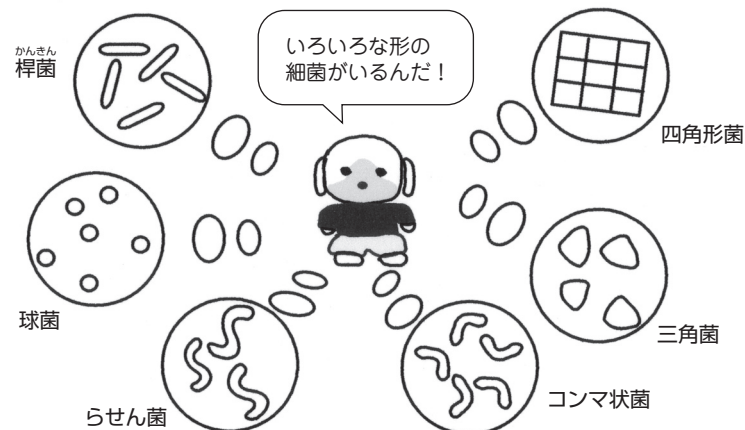


図1.10 真菌の形

